

# 軽防協ニュース速報 号外

2004年3月4日  
軽種馬防疫協議会 事務局  
(JRA 馬事部防疫課)

## 南アフリカにおけるアフリカ馬疫の発生について

いくつかの報道によると、南アフリカの西ケープ州において、2月23日の週に6頭の馬がアフリカ馬疫により死亡した。[www.sabcnews.com](http://www.sabcnews.com)の報告によると、感染馬はStellenbosch周辺から来た馬である。最初の症例は、Elsenburg農業大学で発生し、次の症例は2月27日に大学から16km離れた場所で見つかり、これにより感染源が大学の外にあることが確認された。検体は4頭の馬から採取され、Onderstepoort獣医研究所とPretoriaにある馬研究センターに送られ、アフリカ馬疫であると確定診断された。

アフリカ馬疫は *Culicoides bolitinos* (ヌカカ属) の特に小型の蚊によって媒介される致死的なウイルスである。小型の蚊は、この疾病を広げる為のウイルス源として感染した馬が必要である。アフリカ馬疫は、急速に広がる可能性がある。

今回の発生以前では、1999年の発生以来、西ケープ州でのアフリカ馬疫の発生はなかった。このときにはEUに対しての馬の輸出が2年間禁止される結果となり、競馬産業に多大な減収をもたらした。Elsenburg 農業大学は、アフリカ馬疫監視区域内にある。[Sabcnews.com](http://Sabcnews.com)によると、伝染病研究者は現在感染源を調査中であり、発生地から半径20km内の馬は、ワクチン接種を受けた。

この区域の馬の所有者には、蚊の活動時間一日没2時間前から日の出2時間後までには馬をきゅう舎に収容するように勧めている。加えて、馬に対して殺虫剤を使うように勧めている。

アフリカ馬疫清浄区域と外の馬の出入り、および監視区域から100kmの範囲において馬の移動が禁止された。[news24.com](http://news24.com)によると、監視区域は清浄区域のための緩衝帯として設けられており、そのため清浄区域内の馬は通常ECと合意した輸出衛生条件にしたがって、ワクチンを接種していない。

Independent Online([www.iol.co.za](http://www.iol.co.za))の報告によると、州の農業大臣であるJohn Gelderblomは、“新たな指示が出るまでは、アフリカ馬疫監視区域とアフリカ馬疫清浄区域でおこなわれる馬を使う催物についてはすべて禁止する。”と語った。しかしながら、Kenilworthで行われる競馬開催は例外扱いとなった。Boland州当局の獣医師は、より詳細な獣医学的データを得るために、2月28日(土)にCape TownのKenilworthで開催される予定の競馬を短期間延期するよう求めたため、土曜日の競走は、3月1日(月)に延期された。当日、獣医職員と警察、交通当局の厳重な監視のもとにレースは実施され、何事も起こらなかった。

Gelderblom と西ケープ州の獣医省の長官である Dr.Gideon Bruckner は、Kenithworth で近く実施予定のゴールデンサークル競走の取扱について2月29日に会合を持った。News24.com の報告によると、Noordhoek,Philippi,Milnerton そして Rondeberg から運ばれる競走馬については、厳正な規制の下で輸送が許可された。馬は特別許可証と過去のアフリカ馬疫ワクチン接種証明の携行が求められた。加えて、馬の輸送は、蚊の活動時間外である午前9時から午後5時の間に限って許可された。全ての競走馬は、体温を明記した特別な証明書によって健康である旨の証明を獣医師により受けなければならない。馬と馬運車は、出発前と積み下ろし後に認定された殺虫剤の散布をしなければならない。

現在の衛生条件では、西ケープ州獣医省は、西ケープのアフリカ馬疫清浄区域から輸出される馬について輸出証明を発行できない。9週間に渡る競馬開催中止を含む様々な馬事イベントに影響を与えたインフルエンザの発生に続く発生である。